

6. 耐力要素の配置等による低減係数

【床の仕様】 II 火打ち+荒板

階	方向	領域	領域の必要耐力 Qr	領域の保有する強さ P	充足率 P/Qr	耐力要素の配置等による 低減係数 E
2	X	a	9.44	4.00	0.42	0.80
		b	9.44	9.35	0.99	
	Y	イ	9.44	7.02	0.74	1.00
		ロ	9.44	9.89	1.05	
1	X	a	21.18	17.82	0.84	0.80
		b	21.18	12.49	0.59	
	Y	イ	21.18	18.61	0.88	0.80
		ロ	21.18	12.49	0.59	

7. 劣化度による低減係数

【築10年以上】

部位	材料、部材等	劣化事象	存在点数	劣化点数	
屋根 葺き材	金属板	変退色、さび、さび穴、ずれ、めくれがある	2	2	
	瓦・スレート	割れ、欠け、ずれ、欠落がある			
樋	軒・呼び樋	変退色、さび、割れ、ずれ、欠落がある	2	2	
	堅樋	変退色、さび、割れ、ずれ、欠落がある	2	2	
外壁 仕上げ	木製板、合板	水浸み痕、こけ、割れ、抜け節、ずれ、腐朽がある	4	4	
	窯業系サイディング	こけ、割れ、ずれ、欠落、シール切れがある			
	金属サイディング	変退色、さび、さび穴、ずれ、めくれ、目地空き、シール切れがある			
	モルタル	こけ、0.3mm以上の亀裂、剥落がある			
露出した躯体		水浸み痕、こけ、腐朽、蟻道、蟻害がある	2	2	
バルコニー 手すり 壁	木製板、合板	水浸み痕、こけ、割れ、抜け節、ずれ、腐朽がある	1	1	
	窯業系サイディング	こけ、割れ、ずれ、欠落、シール切れがある			
	金属サイディング	変退色、さび、さび穴、ずれ、めくれ、目地空き、シール切れがある			
	外壁との接合部	外壁面との接合部に亀裂、隙間、緩み、シール切れ・剥離がある			
床排水	壁面を伝って流れている、または排水の仕組みが無い		1	1	
内壁	一般室 内壁、窓下	水浸み痕、はがれ、亀裂、カビがある	2	2	
	浴室	タイル壁	目地の亀裂、タイルの割れがある	2	2
		タイル以外	水浸み痕、変色、亀裂、カビ、腐朽、蟻害がある		
床	床面	一般室	傾斜、過度の振動、床鳴りがある	2	2
		廊下	傾斜、過度の振動、床鳴りがある	1	1
	床下	基礎の亀裂や床下部材に腐朽、蟻道、蟻害がある		2	2
合 計			24	24	

劣化度による低減係数	$D = 1 - (\text{劣化点数} / \text{存在点数}) =$	0.70
------------	---	------

8. 上部構造評点

階	方向	強さ P (kN)	配置などによる 低減係数 E	劣化度 D	建物保有耐力 Pd = P × E × D	必要耐力 Qr (kN)	上部構造評点 Pd/Qr
2	X	18.89	0.80	0.70	10.58	37.76	0.28
	Y	24.50	1.00	0.70	17.15	37.76	0.45
1	X	40.91	0.80	0.70	22.91	84.71	0.27
	Y	45.44	0.80	0.70	25.45	84.71	0.30